

授業科目

助産診断・技術学II

担当教員名 下山 博子、塚本 康子、中山 和美、山口 典子 他	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

助産過程の概要と妊娠期における妊婦と胎児およびその家族の経過と健康生活に関する助産診断・技術について学ぶ。

授業の目的

助産過程の全体像と妊娠期におけるケアの基本的な理念を理解し、助産診断に必要な知識と技術（正常経過逸脱の予測と予防も含む）の基礎を身につけ、ケア実践において求められる姿勢や態度について考えることを目的に授業を展開する。

学習目標

- 1 助産過程の概要とその構成要素である助産診断・助産技術について説明できる。
- 2 妊婦と胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断について説明できる。
- 3 妊婦と胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断に基づいた助産技術を説明できる。
- 4 正常経過を逸脱した妊婦と胎児およびその家族に関する助産診断について説明できる。
- 5 妊娠期の保健指導を計画立案、実施できる。
- 6 妊娠期における助産師としての役割・態度について考察する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	助産過程の概要、助産診断・助産技術の概要	講義	下山 博子
2	妊娠期の助産診断・技術（1）妊娠期のケアの基本的な考え方	講義	下山 博子
3	妊娠期の助産診断・技術（2）妊娠の生理と確定診断	講義	下山 博子
4	妊娠期の助産診断・技術（3）妊娠経過の診断（産科学的診断含む）	講義	下山 博子
5	妊娠中期の保健指導の実際（アセスメント、計画立案、実施、評価）（1）	事例課題についてグループワーク	下山 博子
6	妊娠中期の保健指導の実際（アセスメント、計画立案、実施、評価）（2）	事例課題についてグループワーク	下山 博子
7	妊娠中期の保健指導の実際（アセスメント、計画立案、実施、評価）（3）	講義、事例課題について発表、討議	下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他
8	妊娠中期の保健指導の実際（アセスメント、計画立案、実施、評価）（4）	講義、事例課題について発表、討議	下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他
9	妊娠中期～後期の集団保健指導の実際（アセスメント、計画立案、実施、評価）（1）	事例課題についてグループワーク	下山 博子
10	妊娠中期～後期の集団保健指導の実際（アセスメント、計画立案、実施、評価）（2）	事例課題についてグループワーク	下山 博子
11	妊娠中期～後期の集団保健指導の実際（アセスメント、計画立案、実施、評価）（3）	事例課題について発表、討議	下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他
12	妊娠後期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（1）	事例課題についてグループワーク	下山 博子
13	妊娠後期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（2）	事例課題についてグループワーク	下山 博子
14	妊娠後期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（3）	講義、事例課題について発表、討議	下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他
15	妊娠後期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（4）	講義、事例課題について発表、討議	下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森恵美	日本看護協会出版会	2015年	3,600円+税	
参考書	助産学講座6 助産診断・技術学II (1) 妊娠期	我部山キヨ子、武谷雄二	医学書院	2013年	4,800円+税	
	実践マタニティ診断	日本助産診断・実践研究会	医学書院	2007年	3,800円+税	
	今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改訂第3版	北川真理子、内山和美、生田克夫	南江堂	2013年	8,800円+税	
その他の資料						

評価方法

筆記試験（試験期間に実施します）60%程度

課題レポート20%程度

グループワークへの貢献度、授業への貢献度（討議への参加）等演習における態度20%程度

履修上の留意点

リプロダクティブヘルスケアにおける履修内容は十分理解したもとして授業を進行します。同時期に開講するリプロダクティブヘルスケア演習での技術の再確認とともに、助産診断に必要な知識・技術を統合し、演習（グループワーク）において実践能力を高めていくことを目指します。

課題意識を持って主体的に学習し、妊娠期における助産師としての役割・態度について考察を深めること。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーは特に指定しません。事前にアポイントをとり、リクエストしてください。

研究室 K405（第4研究・実習棟4階）

連絡先 hiroko-s@nuhw.ac.jp